

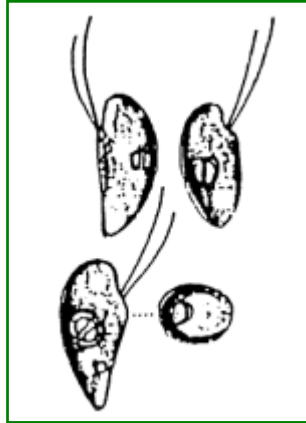
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第45報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年2月10日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

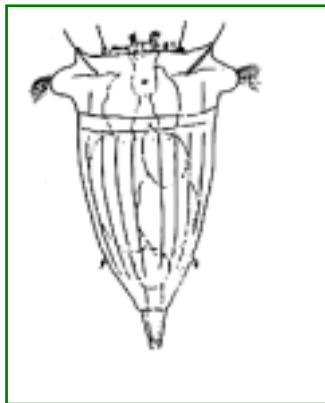
植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga
(ナガマルドロワムシ)
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

植物プランクトンの総細胞数は、前回に引き続き少なかった。その中でも褐色鞭毛藻に属するロードモナスやクリプトモナスは比較的多く観察された。動物プランクトンは、ナガマルドロワムシ、ハネウデワムシが優占種となったが前回より減少した。いずれもこれまで多く見られてきた種類である。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	50

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年2月10日

第45報

(2) 植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	160		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	12		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	90		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	110		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	300		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	40		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	40		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	1.1	0.5
(珪) 珪藻綱	382	40.6	33.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.1	0.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	44.6	57.9
(み) みどり虫藻綱	50	5.3	1.4
(緑) 緑藻綱	70	7.4	6.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	942	総体積 (μm^3)	4.41E+05
種類数	14		

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。